

加古川専売所通信 10月号

神戸新聞NEXTよりピックアップ 当店スタッフがこれぞ神戸新聞ならでは!と思ったおもしろ記事やオススメ連載記事、また繰り返し読んで欲しい地域の情報などをご紹介。詳しく内容を知りたいと思うニュースは是非その日の神戸新聞の紙面、または電子版神戸新聞・神戸新聞NEXTをお読みください!

【最新情報の発行】



9月16日(水)「かこじい、かこばあの知恵袋」より

国勢調査って

5年に一度の国勢調査が始まったらしい。そもそも国勢調査とは一
国が実施する調査で、日本に住む全ての人と世帯が対象です。10月1日時点の世帯員
や配偶者、就業・通学状況など、人口や世帯の実態を把握するデータを集めます。
1920(大正9年)に第1回の調査があり、今年でちょうど100年になります。
調査結果は、地方交付税の算定や衆院小選挙区の区割りのほか、少子高齢化対策や防
災など自治体の施策を進めるための基本的なデータになります。民間ではコンビニの出
店計画にも利用されました。国の最も重要な統計調査とされています。調査員は全世帯
を訪問し、調査票を届けます。

9月19日(土)記事より

森高千里さんがこの街に来て!

歌手の森高千里さん(51)が昨年、全国ツアーで巡った36カ所を紹介するフォトエッセー「『この街』が大好きよ」が25日に集英社から発表される。

書籍は、公演前後にまち歩きを楽しむ森高さんの写真をエッセー付きで紹介。たつの市は「昭和の商店街と、白壁の城下町」と題して4ページを割き、空き店舗が目立つ龍野ショッピングを「なんと味があって懐かしかった」と紹介している。

龍野ショッピングの木村貴弘理事長は「撮影に来ていたことを商店街の誰にも知らず、集英社から連絡をもらって驚いた。森高さんが座ったパンダが名所になればうれしい」と話す。森高さんは龍野城周辺の重要伝統的建造物群保存地区も散策。最高級そうめん「担保乃糸 三神」や、ブンセンのノリつくだ煮「アラ!」など地元の名産品を食べた感想も記している。

加古川市では中心部の寺家町商店街やニッケの戦前の社宅群を訪れ、ニシカワ食品のパンや和菓子を紹介している。

書籍はA5判144ページ、1760円。
電子書籍も9月25日に発売予定。



9月20日(日)記事より

あなたの家に「おんびき」いませんか?

高砂市の住民グループ「石の宝殿研究会」が、地域特産の竜山(たつやま)石から作られたヒキガエルの置物「おんびき」が玄関先などに置かれている民家や事業所を探している。幸福を呼び込む縁起物といい、昭和の成長期に開発された住宅の新築祝いで広まったとみられる。世代が変わっても忘れ去れることなく、高砂の魅力として記録に残そうと、同市内を中心に調べている。

おんびきは、ヒキガエルを表す四国地方の方言。「幸せが返る」「若返る」などの語呂合わせから福を招くという。石の宝殿の下にも2体が向かい合って鎮座している。これまでに見つかったのは、高砂市米田町内などで約1000体。石工が手掛けたといい、3色ある竜山石のうち一番柔らかく、今は希少となった表層の「赤竜石」が多い。大小さまざまあり、小さいカエルを背負っている像や、表面を滑らかに加工したものなどデザインは多彩。店先で客を出迎えたり、毎朝水を供えられたりしていた。同研究会は一つずつ写真を撮影し、場所や特徴と合わせて記録。将来的には写真集にまとめることも検討し、情報を募っている。



特殊詐欺防ぎ J A加古川南北野支所に感謝状

9月16日(水)記事より

9月2日の午後0時半ごろ、80代の女性から「現金で1千万円を下ろしたい」と電話があった。対応した女性職員が不審に思い、理由を聞いても「息子がちょっと」などと言葉を濁されたといい、岡本一支部支所長(51)や同僚に相談。電話をかけてきたという男をかたくなに息子だと信じる女性の自宅に、岡本支所長ら計2人が足を運んで説得し、同署に通報したという。加古川署の大松光寿署長は「自宅に向かうなど真摯な対応で、高額な被害を防いでくれた」と感謝を述べた。岡本支所長は「(女性に)納得してもらうのは難しかったが、頑張って防いだかがあった。この先も積極的に声を掛けたい」と話した。

「風邪をひいて声が変わった」息子を盗い...

9月25日(金)記事より

高齢者から現金をだまし取ろうとしたとして、県警捜査2課と高砂署は24日、詐欺未遂の疑いで、自称横浜市都筑区の高校生の少女(18)を逮捕した。逮捕容疑は何者かと共謀し、高砂市内の女性(83)に対し、男の声で「風邪をひいて声が変わった」と息子を装った上、24日午前、「株で失敗して金が必要になった」「弁護士事務所的女性従業員を行かせる」などと電話した後、女性宅を訪れ、現金を詐取しようとした疑い。

コウノトリ3羽飛来

9月27日(日)記事より

国の特別天然記念物コウノトリ3羽が加古川市西条山手に飛来したのを、近くの会社員河野貴輝さん(43)が発見し、うち2羽を写真に収めた。電柱に止まって羽を休めていたといい、県立コウノトリの郷公園(豊岡市)の担当者は「加古川市にいい個場を見つけ、お気に入りの場所になっているのかもしれない」と話している。

河野さんは21日午後1時ごろ、自宅の部屋からコウノトリを発見。慌てて外に出ると、トビやタカといった猛禽類追われて一度は飛び去ったが、別の電柱に止まって羽を広げたり、周囲を見渡したりしていたという。

同公園によると、2羽のうち個体識別用の足輪がはつきり確認できた1羽は、2017年8月に朝来市で放鳥された3歳のメス。今年1月中旬、加古川市神野町にある二つのため池でも確認されているという。

河野さんはコウノトリを発見した前日にも、同僚4人で訪れた豊岡市の田んぼで見かけたといい、「2日連続で見られるなんて奇跡。いいことがあるかもしれない」と興奮した様子だった。



ずたっふのつぶやき @kakogawasenbaisho · 1時間



「おんびき」は作る人が減って、その存在は貴重だそうです。けれど建て替えなどで捨てられてしまうこともあるそう。高砂市米田町内だけで100体も見つかりましたが、まだまだ見つかる可能性があるそうです。もしお家にあるならぜひ調査に協力してみたいかでしょうか。そういえば通勤路で見かけた気も...見たら押しておこう!*** コウノトリ、見たい...!自宅の窓から見たらホントびっくりでしょうね。どうやらコウノトリもお気に入りの住まい環境という事で、また奇跡は起こるんじゃないでしょうか!?

ちなみに東播磨県民局と「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」が、今年4月以降に東播2市2町と明石市で撮影されたコウノトリの写真を募っています。写真を送ると少し「いいこと」があるかも...!?

応募は来年2月26日まで(消印有効)。自身が撮影した写真で、撮影日時と場所、撮影者の郵便番号、住所、名前、ピンバッジ所有の有無を明記。〒675-8566加古川町寺家町天神木97-1、東播磨県民局水辺地域づくり担当まで持参か郵送。メール(inamino.tameike.museum@gmail.com)でも受付しています。☎079-421-9026

写真は鮮明でなくてもコウノトリと分かれればOK。個体識別の足輪がわかる写真や、餌を食べたり羽繕いなどの行動と周辺環境が分かる写真は資料として役立つので、自分もぜひ見つけて、応募したいな~!

株式会社 加古川専売所 加古川市米田町平津46-18 mail:kakogawa.senbaisho@gmail.com

TEL079-432-6888 FAX079-432-7991

HPはこちらから

